

令和 8 年度第 2 回小牧市交通安全・防犯対策協議会 議事録

日 時	令和 8 年 9 月 29 日（火）午前 10 時 00 分～午前 11 時 20 分	
場 所	小牧市役所 本庁舎 6 階 601 会議室	
出 席 者	【委員】 ◎中村 明 交通安全協会小牧支部 ○林 泰治 安全なまちづくり推進指導員 加藤 一樹 小牧安全運転管理協議会 平松 浩 小牧市交通委員連絡協議会 長谷川 幸彦 小牧工場事業場防犯協会 鈴木 里美 小牧少年補導委員会 兼子 茂 小牧市生徒指導連絡協議会 白石 昌之 小牧市区長会連合会 梶田 久美子 小牧市女性の会 落合 光江 小牧市更生保護女性会 澤木 厚司 小牧市社会福祉協議会 長谷川 宜史 小牧商工会議所 河合 厚志 小牧小中学校 P T A 連絡協議会 服部 勲 小牧市老人クラブ連合会 梅田 三枝子 公募委員 熊澤 正幸 公募委員 牧野 裕人 公募委員 ※ ◎会長、○副会長 【事務局】 小川 真治 市民生活部長 堀田 正二 市民生活部次長 高柳 貴大 市民安全課長 坂田 充 市民安全課主幹 日比野 豊 市民安全課交通防犯係係長 林 敬将 市民安全課相談係主査 上月 あかね 市民安全課交通防犯係主事	
欠 席 者	山下 香 子どもと高齢者を交通事故から守る会 春井 ひとみ 小牧防犯協会連合会 伊藤 守 小牧市保護区保護司会	
傍 聴 者	0 名	
配布資料	・ 次第 ・ 資料：議題、報告事項	

主な内容

あいさつ（中村会長）

1 協議事項

特殊詐欺対策について

【SNS 型投資・ロマンス特殊詐欺の動画を視聴】

特殊詐欺対策として、視聴していただいた動画を市役所のレストランがオープンするまでの間、市役所 6 階の休憩スペースで流し啓発していた。今後は、市民安全課の窓口で流せるように現在準備をしている。

また、詐欺対策アプリのインストールを促進するため消費生活センターや相談窓口にチラシを掲出している。ダウンロードの際には必要に応じて市職員が操作をお手伝いしている。

詐欺対策動画や詐欺対策アプリのインストールの活用について委員の方の意見をもらいたい。

（中村会長）

事務局としてどのような活用を目指しているか。

（坂田主幹）

高齢者だけでなく普段からスマートフォンに触れる機会の多い若い世代にも見てほしい。特にロマンス詐欺や投資詐欺は若い世代が騙されやすい。市では若い世代とのつながりが少ないため、委員の方からの意見を基にその世代へのアプローチをしたい。

詐欺対策アプリについてはアプリを入れたい、入れてもいいと思う人を一人でも増やしたい。無料でダウンロードできるものなので、入れておいて損はないもの。注意点としては、海外からの電話をブロックしてしまうので、海外にお知り合いがいる方や日常的に海外からの電話を受けている人には向いていないところがある。

（梅田委員）

フラットみなみの児童館に若い世代がたくさん来る。児童館のテレビで動画を流したり、若い世代も参加する会議の際に動画を流して周知、啓発ができるのではないかと思う。

（中村会長）

味噌や東部、西部にも同様の施設があるので、事務局で前向きに検討をお願いしたい。

（河合委員）

動画内でもあった投資詐欺などは若い世代が騙されることが多い。小中学生のころから詐欺の危険性や気を付けるポイントなどを刷り込んでいく必要があるのではないか。また、PTA の会合の際に先ほどの動画を流すことで、保護者にも周知ができるのではないかと思った。

(熊澤委員)

社協のサロン内で周知することはできるのではないかな。高齢者は、動画より紙ベースの方がよい。たくさんの人に見てもらえる方法を事務局で検討してほしい。

(長谷川（幸）委員)

一人ひとりが自分は大丈夫と思い込まずに気を付けられるように、多くの人目に触れるべき。例えば、お祭りなど人が多く集まる場面で、パソコンなどの機材を持って行くのも一つの手ではないかと思う。

(林副会長)

今後開催予定の特殊詐欺対策検討委員会で提案する予定だが、市の会議前に動画などを流すというルールを作るというのはどうか。小牧と書いてあるだけで認識するため、実際の小牧市での詐欺の実例を紹介してほしい。他にも、学校のタブレットを立ち上げると必ず目に触れるようにするということもできるのではないかな。

また、先ほどの動画内でもマッチングアプリを使い、会うことなく詐欺被害にあっている状況があったが、脳内で作り上げた人柄を信用してしまうという脳の仕組みを使った手口である。そういったことが起こり得るということを、たくさんの人に人に認識してもらう必要がある。

(平松委員)

市などからのトップダウン式の啓発も必要だが、担任先生から啓発するようなボトムアップ式の方法も必要だと思った。

(中村会長)

いろいろな場面、方法を委員の方から提案していただいたので、事務局で精査し、前向きに検討してほしい。

2 報告

(1)本市の交通情勢について

- ・事務局より資料を用いて説明
- ・質疑、意見は以下のとおり

(中村会長)

市役所の地下駐車場など、電気を点けたり消したりして昼間と夜間を再現し見え方の違いがわかるような場所を選定するのはどうか。

(梅田委員)

昨年度ナイトスクールに参加した。広いところで間隔をとることで、どのように見えるかを体験した。何度か実施し、いろんな人が体験することが大切。どこまでの距離があると見えるか見えないかを委員の皆さんにも体験してほしい。

(加藤委員)

たくさんの人に参加してほしいのか、集まりすぎると困るのか。ターゲットはど

の世代なのか。

(坂田主幹)

会場の規模的に 50 名くらいが適切。こどもと大人で見え方が違うなど、いろいろな発見があるので、子どもにも参加してほしい。その際は、夜間なので保護者は一緒に来てほしい。

(加藤委員)

18 時だと子供が参加するのは難しいと思うので、会場の選定をし、昼に開催できる方法も検討してほしい。

(落合委員)

夏の交通安全キャンペーンの際に自動車学校で安全確認の勉強会をした。改めて初心に戻る機会が必要であると再確認できた。

(服部委員)

高齢者は事故の被害者にも加害者にもなり得る。大勢の集まる会議の P R していきたい。

(平松委員)

ナイトスクールをいろいろな地区で実施すると参加人数も増え、1 箇所での参加者数もある程度抑えられるのではないかな。地区の見守りボランティアも参加者が減っているので、それを増加させていく対策も検討していくべき。

(中村会長)

バランスの取れたいい案を事務局で検討してほしい。

(2) 小牧市における交通事故及び犯罪状況について

(小牧警察署交通課長：代理 坂田主幹)

- ・今年死亡事故が多発している。これからの時期は日照時間が短くなる。特に薄暗くなる夕方や早朝は、視界・視認性が悪く事故のリスクが高くなる時間帯となる。「夕方の 5～7 は魔の時間」のスローガンだけでなく併せて「朝の 5～7 も魔の時間」ということをご承知おき頂きたい。
- ・今月から生活道路の速度制限が 30 キロになった。生活道路とは、「中央線がない」「速度標識がない」道路。そのため住宅街の狭い道路に限定されるものではない。違反になるから速度を守るのではなく、車や歩行者の安全のために 30 キロを守るという意識を持っていただきたい。

(小牧警察署生活安全課長：代理 坂田主幹)

- ・市内の刑法犯認知件数は昨年より 100 件ほど増加している。増加している原因は特殊詐欺被害。市内でも県内でも増加している。被害の入り口となるのはInstagram やマッチングアプリで、若い世代だけでなく高齢者も被害にあうため、幅広い世代に注意してほしい。
- ・年末に向けて、例年犯罪が増加していく傾向にある。外出の際は鍵かけを。また、相手の顔が見えない状態でお金の話がでたときは詐欺かもしれないと思って気を付け

てほしい。

- ・今後も警察活動にご協力いただくとともに家族や友人・知人への防犯啓発広報をよろしくお願いしたい。

(林副会長)

詐欺対策のためのN T Tのアプリや事故や犯罪の状況が届くパトネットあいちに委員の皆さんはぜひ登録をしてほしい。

3 その他

「交通安全」「防犯」ポスター・標語の選定について【事務局より説明】

- ・ポスター319点、標語433点の応募があった。
- ・委員の採点により、「特別賞」各5点、「入選」各10点を決定する

以上